

V 平野原Ⅲ遺跡

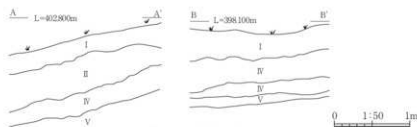
1 遺跡の位置

遺跡の所在する遠野市は、岩手県の中央部よりやや南東側に位置している。本遺跡はJR釜石線の岩手上郷駅より南西へ約1.9kmにあり、猿ヶ石川支流の早瀬川沿いの低地に面した丘陵中腹に立地している。標高は400m前後で、現況は山林である。国土地理発行の5万分の1地形図「遠野」N J 54-14-5 (一関5号)の図幅に含まれ、北緯39度16分6秒、東経141度34分32秒付近にあたる。

2 基本層序

調査区の層序は、上位からⅠ～Ⅴ層に大別される。遺構は漸移層のⅣ層下面からⅤ層上面にかけて確認されている。

- Ⅰ層 黒褐色土(10YR3/2)：腐植土で調査区全域に堆積している。層厚は20cm。
- Ⅱ層 黒色土(10YR1.7/1)：調査区の東側斜面周辺で堆積が見られる。層厚は30cm。
- Ⅲ層 暗褐色土(10YR3/3)：調査区の西側～北側斜面周辺で堆積が見られる。層厚は20cm。
- Ⅳ層 黄褐色土(10YR5/6)：黄褐色土と灰黄褐色土の混合土。漸移層。層厚は20cm。
- Ⅴ層 黄褐色土(10YR5/6)：地山面である。層厚は不明。



第1図 基本層序

3 検出された遺構

調査の結果、尾根の斜面から開口部の形状が細長い溝状、隅丸長方形、楕円形ないし不整楕円形、円形を基調とする土坑が18基検出された。

1号土坑(第3図、写真図版1)

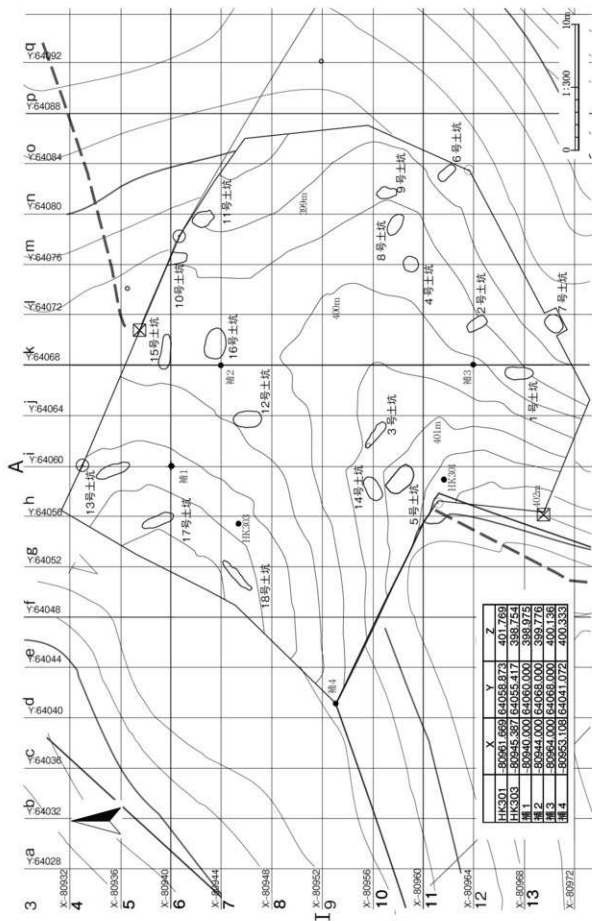
〈位置・検出状況〉南側調査区のⅠA12j～13jグリッドにわたって位置し、2号土坑と近接している。Ⅴ層上面の黄褐色土で検出されている。

〈重複関係〉他遺構との重複はない。

〈形状・規模〉南～北に長軸がある楕円形を呈しており、開口部2.28×0.94m、底部2.08×0.50mである。深さは1.40mで、横断面形状はU字形である。底面はやや凹凸を持ち、中央部がややくぼむ。

〈堆積土〉しまりのある黒色土を主体とするⅡ層に大別され、下位は黒褐色土と黄褐色土との互層である。自然堆積と考えられる。

3 検出された遺構



第2図 遺構配置図

〈遺物・時期〉出土しない。時期は不明である。

2号土坑(第3図、写真図版2)

〈位置・検出状況〉南側調査区のⅠA11k～12kグリッドにわたって位置し、北北東側22mに11号土坑が並列している。検出面はV層上面である。

〈重複関係〉他遺構との重複はない。

〈形状・規模〉南南東-北北西に長軸がある隅丸長方形を呈しており、開口部1.70×0.88m、底部1.15×0.28mである。深さは1.54mで、横断面形状はU字形である。底面は平坦である。

〈堆積土〉上位はやや粘性の強い黒色土、下位は壁崩落土混じりの黒褐色土と黄褐色土の互層で10層に大別される。自然堆積と考えられる。

〈遺物・時期〉出土しない。時期は不明である。

3号土坑(第3図、写真図版2)

〈位置・検出状況〉南側調査区の西側ⅠA9i～10iグリッドにわたって位置し、南西側3mに5号土坑が並列している。検出面はV層上面である。

〈重複関係〉他遺構との重複はない。

〈形状・規模〉南東-北西に長軸がある溝状を呈しており、開口部2.46×0.72m、底部2.14×0.26mである。深さは0.56mで、横断面形状はU字形である。底面はほぼ平坦であるが、北西端に径0.42×0.20m、深さ0.18mの不整楕円状の副穴が1個確認されている。

〈堆積土〉5層に大別され、上位は粘性のある黒色土、下位が壁崩落土を含んだ黄褐色土で構成されている。自然堆積と考えられる。

〈遺物・時期〉出土しない。時期は不明である。

4号土坑(第3図、写真図版2)

〈位置・検出状況〉南側調査区東側のⅠA10l～10mグリッドにわたって位置し、北東側3mに8号土坑が隣接している。検出面はV層上面である。底面はほぼ平坦である。

〈重複関係〉他遺構との重複はない。

〈形状・規模〉ほぼ円形を呈しており、開口部1.26×1.20m、底部0.60×0.55mである。深さは0.88mで、横断面形状は逆台形である。

〈堆積土〉5層に大別され、黒色土と黒褐色土とに黄褐色土の互層で、下位に炭化物の混入が見られる。自然堆積と考えられる。

〈遺物・時期〉出土しない。時期は不明である。

5号土坑(第4図、写真図版2)

〈位置・検出状況〉南側調査区西側のⅠA10hグリッドに位置している。北東側3mには3号土坑が並列しており、北側0.40mに14号土坑が近接する。V層上面で検出されている。

〈重複関係〉他遺構との重複はない。

〈形状・規模〉南東-北西に長軸がある不整楕円形を呈しており、開口部2.54×1.46m、底部1.80×0.54mである。深さは2.08mで、横断面形状は残存する範囲では逆台形である。底面は細かな凹凸を持つが、ほぼ平坦である。

(堆積土)しまりのある黄褐色土を主体とする16層に大別される。上位に黒色土と黒褐色土のレンズ状の堆積が見られ、下位は壁崩落土の明黄褐色土で構成されている。自然堆積と考えられる。

(遺物・時期)出土しない。時期は不明である。

6号土坑(第4図、写真図版3)

(位置・検出状況)南側調査区東端のI A11nグリッドに位置し、V層上面で検出されている。

(重複関係)他遺構との重複はない。

(形状・規模)南東-北西に長軸がある楕円形を呈しており、開口部1.60×0.76m、底部1.46×0.25mである。深さは0.80mで、横断面形状はU字形である。底面は細かい凹凸があり、南東に向かって傾斜している。北西端の壁はオーバーハングしている。

(堆積土)8層に大別される。上位は黒色土と灰黄褐色土で構成され、下位は壁崩落土の黄褐色土が堆積している。自然堆積と考えられる。

(遺物・時期)出土しない。時期は不明である。

7号土坑(第4図、写真図版3)

(位置・検出状況)南側調査区南端のI A13kグリッドに位置し、V層上面で検出されている。

(重複関係)他遺構との重複はない。

(形状・規模)南西-北東に長軸がある楕円形を呈しており、開口部1.50×1.28m、底部1.04×0.48mである。深さは1.30mで、横断面形状はY字形である。底面はほぼ平坦である。

(堆積土)しまりのある黒色土を主体とする8層に大別され、下位に壁崩落土が混じった褐色土が堆積している。自然堆積と考えられる。

(遺物・時期)出土しない。時期は不明である。

8号土坑(第5図、写真図版3)

(位置・検出状況)南側調査区東側のI A10mグリッドに位置し、北東側1.4mに9号土坑が隣接している。検出面はV層上面である。

(重複関係)他遺構との重複はない。

(形状・規模)東南東-西北西に長軸がある楕円形を呈しており、開口部1.88×0.98m、底部1.38×0.40mである。深さは1.66mで、横断面形状はY字形である。底面は平坦であるが、東南東に向かって中央から傾斜している。

(堆積土)しまりのある明黄褐色土を主体とする7層に大別され、上位に黒色土と黒褐色土のレンズ状の堆積が見られる。自然堆積と考えられる。

(遺物・時期)出土しない。時期は不明である。

9号土坑(第5図、写真図版3)

(位置・検出状況)南側調査区東側のI A10nグリッドに位置し、南西側1.4mに8号土坑が隣接している。V層上面で検出されている。

(重複関係)他遺構との重複はない。

(形状・規模)南-北に長軸がある不整楕円形を呈しており、開口部1.62×0.95m、底部1.03×0.45mである。深さは1.45mで、横断面形状はY字形である。底面は中央から盛り上がるが、ほぼ平坦である。

〈堆積土〉10層に大別される。暗褐色と褐色土の互層で構成され、中位から下位にかけ黒褐色土がレンズ状に堆積している。自然堆積と考えられる。

〈遺物・時期〉出土しない。時期は不明である。

10号土坑(第5図、写真図版4)

〈位置・検出状況〉北側調査区北端部の I A 6 m グリッドに位置している。西南西側12.8mには12号土坑が並列し、東南東側2.4mに11号土坑が隣接している。検出面はV層上面である。

〈重複関係〉他遺構との重複はない。

〈形状・規模〉遺構は北側が調査区域外延びていることから、詳細が不明である。確認された範囲での規模は、開口部で1.28×0.98m、底部で1.12×0.32m、深さが1.34mである。南-北方向に長軸があり、横断面形状はY字形を呈している。

〈堆積土〉8層に大別され、上位は黒褐色土、下位はにぶい黄褐色土の互層で構成されている。自然堆積と考えられる。

〈遺物・時期〉出土しない。時期は不明である。

11号土坑(第6図、写真図版4)

〈位置・検出状況〉北側調査区北端部の I A 6 m グリッドに位置し、西南西側2.2mに2号土坑が並列し、西北西側2.4mに10号土坑が隣接している。検出面はV層上面である。

〈重複関係〉他遺構との重複はない。

〈形状・規模〉南南東-北北西に長軸がある不整楕円形を呈しており、開口部1.66×1.24m、底部1.30×0.45mである。深さは1.64mで、横断面形状は逆台形である。底面は細かい凹凸があるが、ほぼ平坦である。

〈堆積土〉黒褐色土を主体とする10層に大別される。上位は黒色土と黒褐色土で構成され、下位は黒褐色土と黄褐色土の互層である。自然堆積と考えられる。

〈遺物・時期〉出土しない。時期は不明である。

12号土坑(第6図、写真図版4)

〈位置・検出状況〉北側調査区西側の I A 7 i ~ 7 j グリッドにわたって位置し、東北東側12.8mに10号土坑が並列している。検出面はV層上面である。

〈重複関係〉他遺構との重複はない。

〈形状・規模〉南-北に長軸がある楕円形を呈しており、開口部2.25×1.32m、底部1.68×0.28mである。深さは1.42mで、横断面形状はY字形である。底面は南側にわずかなくぼみがあるが、ほぼ平坦である。

〈堆積土〉10層に大別される。上位は黒色と黒褐色土と黄褐色土の互層で構成され、下位は壁崩落土の黄褐色土が堆積している。自然堆積と考えられる。

〈遺物・時期〉出土しない。時期は不明である。

13号土坑(第6図、写真図版4)

〈位置・検出状況〉北側調査区西端部の I A 4 h ~ 5 i グリッドにわたって位置し、南西側4.2mに17号土坑が並列している。検出面はV層上面である。

〈重複関係〉他遺構との重複はない。

3 検出された遺構

〈形状・規模〉南南東-北北西に長軸がある溝状を呈しており、開口部2.84×0.86m、底部2.60×0.22mである。深さは1.06mで、横断面形状Y字形である。底面は南側に凹凸があるが、ほぼ平坦である。北西端部の壁はオーバーハングしている。

〈堆積土〉しまりのある黄褐色土を主体とする9層に大別され、上位は黒色土と黒褐色土がレンズ状に堆積している。自然堆積と考えられる。

〈遺物・時期〉出土しない。時期は不明である。

14号土坑(第7図、写真図版5)

〈位置・検出状況〉南調査区西側のIA9h~10hグリッドにわたって位置し、南側0.40mに5号土坑が近接している。検出面はV層上面である。

〈重複関係〉他遺構との重複はない。

〈形状・規模〉東北東-西南西に長軸がある楕円形を呈しており、開口部2.00×1.12m、底部1.52×0.20mである。深さは1.46mで、横断面形状はY字形である。底面は細かい凹凸が確認できる。

〈堆積土〉黄褐色土を主体とする10層に大別される。上位は黒色土と灰黄褐色土、下位が壁崩落土の黄褐色土とにぶい黄褐色土で構成されている。自然堆積と考えられる。

〈遺物・時期〉出土しない。時期は不明である。

15号土坑(第7図、写真図版5)

〈位置・検出状況〉北側調査区北端部のIA5j~5kグリッドにわたって位置し、南側2.5mに16号土坑が並列している。検出面はV層上面である。

〈重複関係〉他遺構との重複はない。

〈形状・規模〉東南東-西北西に長軸がある溝状を呈しており、開口部2.76×0.90m、底部3.32×0.32mである。深さは1.02mで、横断面形状はY字形である。底面は凹凸が確認できる。両端部の壁はオーバーハングしている。

〈堆積土〉5層に大別され、黒色土と黄褐色土とにぶい黄褐色土の互層で構成されている。自然堆積と考えられる。

〈遺物・時期〉出土しない。時期は不明である。

16号土坑(第7図、写真図版5)

〈位置・検出状況〉北側調査区のIA6kグリッドに位置し、北側2.5mに15号土坑が並列している。検出面はV層上面である。

〈重複関係〉他遺構との重複はない。

〈形状・規模〉東南東-西北西に長軸がある楕円形を呈しており、開口部2.44×1.60m、底部1.44×0.52mである。深さは2.00mで、横断面形状はY字形である。底面はほぼ平坦である。

〈堆積土〉11層に大別され、黒褐色土とにぶい黄褐色土と黄褐色土の互層で、黒褐色土はレンズ状に堆積している。自然堆積と考えられる。

〈遺物・時期〉出土しない。時期は不明である。

17号土坑(第8図、写真図版5)

〈位置・検出状況〉北側調査区西端部のIA5g~5hグリッドにわたって位置し、北西側4.2mに13

号土坑が並列している。検出面はV層上面である。

〈重複関係〉他遺構との重複はない。

〈形状・規模〉南南東-北北西に長軸がある溝状を呈しており、開口部264×0.82m、底部2.70×0.18mである。深さは1.22mで、横断面形状はY字形である。底面は中央部がくぼみ、北西から南東にかけてわずかに傾斜する。北北西端部の壁はオーバーハングしている。

〈堆積土〉5層に大別され、黒色土と黄褐色土と褐灰色土の互層で構成されている。自然堆積と考えられる。

〈遺物・時期〉出土しない。時期は不明である。

18号土坑(第8図、写真図版6)

〈位置・検出状況〉北側調査区西側のI A 7 f ~ 7 g グリッドにわたって位置し、V層上面で検出している。

〈重複関係〉他遺構との重複はない。

〈形状・規模〉南西-北東に長軸がある溝状を呈しており、開口部3.16×0.66m、底部3.42×0.28mである。深さは1.10mで、横断面形状はY字形である。底部は凹凸があり、両端部の壁はオーバーハングしている。

〈堆積土〉10層に大別され、上位は灰黄褐色土と黄褐色土の互層で、下位は黒褐色土と黄褐色土で構成されている。自然堆積と考えられる。

〈遺物・時期〉出土しない。時期は不明である。

4 遺構外出土遺物

遺物は、遺構外から縄文時代の土器破片7点と礫石器が2点出土している。

土器(第9図、写真図版6)

いずれも深鉢と思われるが、破片のため器形の全容は不明である。1~5は口縁部と胴部片で、胎土に植物繊維を含んでおり縄文時代前期に比定される。6と7は口縁部片で、7には竹管文が施されており後期に比定される。

石器(第9図、写真図版6)

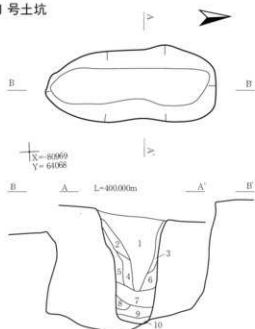
8はホルンフェルス素材とする敲・磨石で、長さ14cm、幅4.6cm、厚さ2.1cmを測る。敲打痕は両端部と側面に、磨痕が側面に認められる。産地は北上山地である。9は器面に磨痕がある台石と考えられる破片で、長さ17.4cm、幅11.5cm、厚さ4.5cmを測る。石質は砂岩で、産地は8と同様である。

5 まとめ

検出された18基の土坑は、遺物の出土がなく時期が不明である。4号土坑を除く他の土坑は、平面形状の特徴や県内の調査事例等から、縄文時代の陥し穴状土坑(遺構)に分類されるものである。以下に17基の概略を補足しまとめとする。

開口部の平面形状はA型:細長い溝状のもの(5基)、B型:楕円形ないし不整楕円形のもの(10基)、C型:隅丸長方形のもの(1基)、D型:不明なもの(1基)に分類され、本遺跡ではB型タイプのものが半数以上を占めている。横断面形状を見ると、U字形ないしY字形のものが15基(83%)、逆

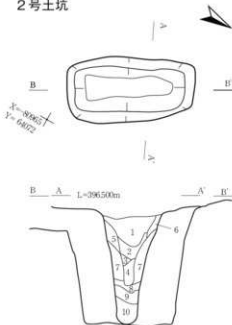
1号土坑



1号土坑

- 1 10YR1.7/1 黒色粘土質シルト しまりやや強 粘性やや強 黄褐色土層(φ1mm) 10%含む
- 2 10YR5.6 黄褐色粘土質シルト しまり中 粘性やや強 黒色土(1層土) 20%礫状含む
- 3 10YR5.6 黄褐色粘土質シルト しまり中 粘性やや強 黒色土(1層土) 10%含む
- 4 10YR2.1 黒色粘土質シルト しまり中 粘性やや強 地山上段20%含む
- 5 10YR5.6 黄褐色粘土質シルト しまりやや弱 粘性中 黒色土3%含む
- 6 10YR5.6 黄褐色粘土質シルト しまりやや強 粘性やや強 黒色土10%含む
- 7 10YR5.6 黄褐色粘土質シルト しまり弱 粘性強 黒色土礫状20%含む
- 8 10YR5.6 黄褐色粘土質シルト しまりやや強 粘性強 黒色土1%含む
- 9 10YR3.1 褐色粘土質シルト しまりやや強 粘性強 黄褐色土5%含む
- 10 10YR5.6 黄褐色粘土質シルト しまり強 粘性強 黒色土5%含む

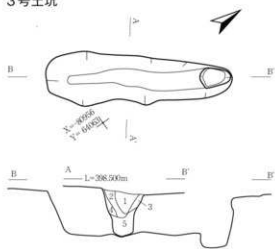
2号土坑



2号土坑

- 1 10YR1.7/1 黒色粘土質シルト しまりやや強 粘性やや強 地山上段(φ1mm) 5%含む
- 2 10YR3.1 黒褐色粘土質シルト しまり中 粘性中 地山ブロック10%含む
- 3 10YR2.1 黒褐色粘土質シルト しまりやや強 粘性中 地山上段3%含む
- 4 10YR5.6 黄褐色粘土質シルト しまり中 粘性やや弱 黒褐色土5%含む
- 5 10YR3.1 黒褐色粘土質シルト 地山ブロック状20%含む
- 6 10YR3.1 黒褐色粘土質シルト しまりやや強 粘性中強 地山ブロック状10%含む
- 7 10YR5.6 黄褐色粘土質シルト しまり中 粘性やや強 黒色土5%含む
- 8 10YR3.1 黒褐色粘土質シルト しまり中 粘性中 地山ブロック5%含む
- 9 10YR5.6 黄褐色粘土質シルト しまり中 粘性やや強 黒褐色土10%含む
- 10 10YR5.6 黄褐色粘土質シルト しまり中 粘性やや強 黒色土5%含む

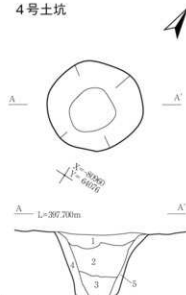
3号土坑



3号土坑

- 1 10YR1.7/1 黒色粘土質シルト しまりやや強 粘性やや強 地山ブロック5%含む
- 2 10YR5.3 に近い黄褐色粘土質シルト しまりやや強 粘性中 黒色土10%含む
- 3 10YR5.3 に近い黄褐色粘土質シルト しまりやや強 粘性中 黒色土5%含む
- 4 10YR5.3 に近い黄褐色粘土質シルト しまりやや強 粘性中 地山ブロック5%含む
- 5 10YR5.6 黄褐色粘土質シルト しまりやや強 粘性やや強 混入なし

4号土坑



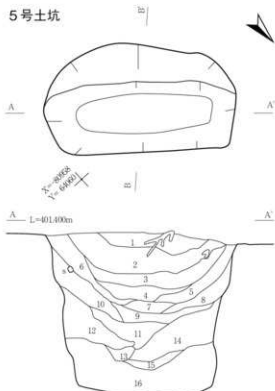
4号土坑

- 1 10YR1.7/1 黒色粘土質シルト しまりやや強 粘性やや強 地山上段3%含む
- 2 10YR3.2 黒褐色粘土質シルト しまりやや強 粘性強 黒色土ブロック5%含む
- 3 10YR5.3 に近い黄褐色粘土質シルト しまり強 粘性やや強 炭化物1%含む
- 4 10YR5.6 黄褐色粘土質シルト しまり強 粘性強 黒色土ブロック5%含む
- 5 10YR5.6 黄褐色粘土質シルト しまり強 粘性強 黒色土ブロック5%含む

0 1:50 1m

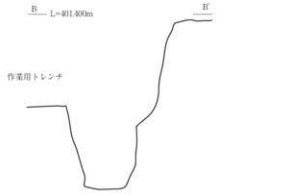
第3図 1～4号土坑

5号土坑

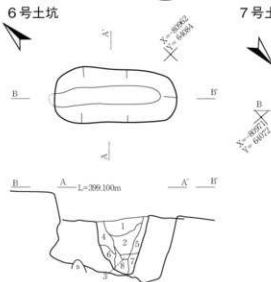


5号土坑

- 1 10YR17/1 黒色 粘土質シルト しまりやや強 粘性中 地山ブロック5%植物骨含む
- 2 10YR4/3 に近い黄褐色シルト しまりやや強 粘性やや強 黄褐色土3%含む
- 3 10YR4/2 灰黄褐色シルト しまりやや強 粘性やや強 地山土粒3%含む
- 4 10YR6/8 明黄褐色粘土質シルト しまり強 粘性中 黒色土10%含む
- 5 10YR2/1 黒褐色粘土質シルト しまりやや強 粘性やや強 地山ブロック5%含む
- 6 10YR4/2 灰黄褐色粘土質シルト しまりやや強 粘性やや強 地山ブロック3%含む
- 7 10YR3/1 黄褐色粘土質シルト しまりやや強 粘性中 地山ブロック10%含む
- 8 10YR6/8 明黄褐色粘土質シルト しまりやや強 粘性やや強 混入なし
- 9 10YR2/1 黒褐色粘土質シルト しまりやや強 粘性中 地山ブロック20%含む
- 10 10YR6/8 明黄褐色粘土質シルト しまりやや強 粘性やや強 灰黄褐色土5%含む
- 11 10YR4/2 灰黄褐色粘土質シルト しまりやや強 粘性やや強 地山ブロック20%含む
- 12 10YR6/8 明黄褐色粘土質シルト しまりやや強 粘性中 混入なし
- 13 10YR2/1 黒褐色粘土質シルト しまりやや強 粘性中 地山ブロック10%含む
- 14 10YR6/8 明黄褐色粘土質シルト しまりやや強 粘性強 混入なし
- 15 10YR2/1 黒色粘土質シルト しまりやや弱 粘性中 地山ブロック10%含む
- 16 10YR6/8 明黄褐色粘土質シルト しまりやや強 粘性強 混入なし



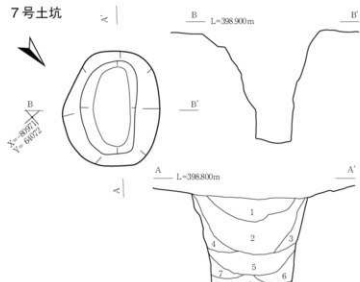
6号土坑



6号土坑

- 1 10YR2/1 黒色粘土質シルト しまりやや強 粘性中 地山ブロック5%含む
- 2 10YR4/2 灰黄褐色粘土質シルト しまり中 粘性やや強 地山土粒20%含む
- 3 10YR5/6 黄褐色粘土質シルト しまりやや強 粘性やや強 混入なし
- 4 10YR5/4 に近い黄褐色粘土質シルト しまりやや強 粘性中 黒色土5%含む
- 5 10YR5/4 に近い黄褐色粘土質シルト しまりやや強 粘性中 黒色土5%含む
- 6 10YR5/6 黄褐色粘土質シルト しまり強 粘性中 混入なし
- 7 10YR5/6 黄褐色粘土質シルト しまり強 粘性中 混入なし
- 8 10YR5/6 黄褐色粘土質シルト しまり強 粘性中 黒褐色土3%含む

7号土坑



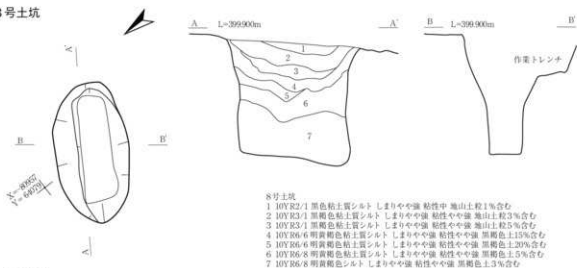
7号土坑

- 1 10YR2/2 黒褐色砂質シルト しまり中 粘性弱 褐色砂粒含む
- 2 7.5YR2/1-17/1 黒色砂質シルト しまり中 粘性弱 均質塊状に褐色砂粒散見
- 3 7.5YR2/2 黒色砂質シルト しまり中 粘性弱 顕著した褐色粘土ブロック20-30%含む
- 4 7.5YR2/1 黒色砂質シルト しまり中 粘性弱 顕著した褐色粘土ブロック10-20%含む
- 5 7.5YR17/1 黒色砂質シルト しまり中 粘性弱 均質含む
- 6 7.5YR4/6 黄褐色粘土質シルト しまり中 粘性中 細砂含む
- 7 7.5YR4/6 黄褐色粘土質シルト しまり中 粘性中 細砂含む 暗褐色土ブロック5%含む
- 8 10YR3/3 暗褐色砂質シルト しまり弱-中 粘性弱-中 混在11水平方向扇状に堆積互層状となる

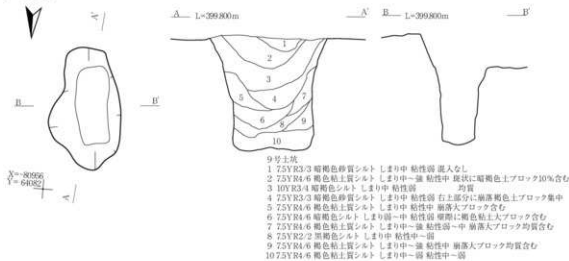


第4図 5～7号土坑

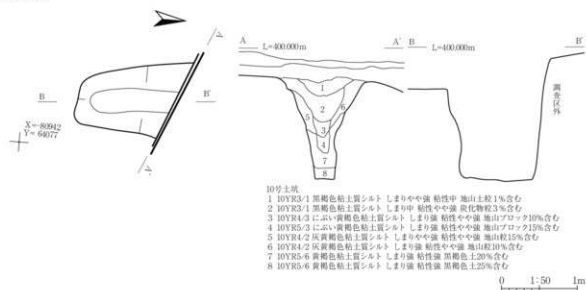
8号土坑



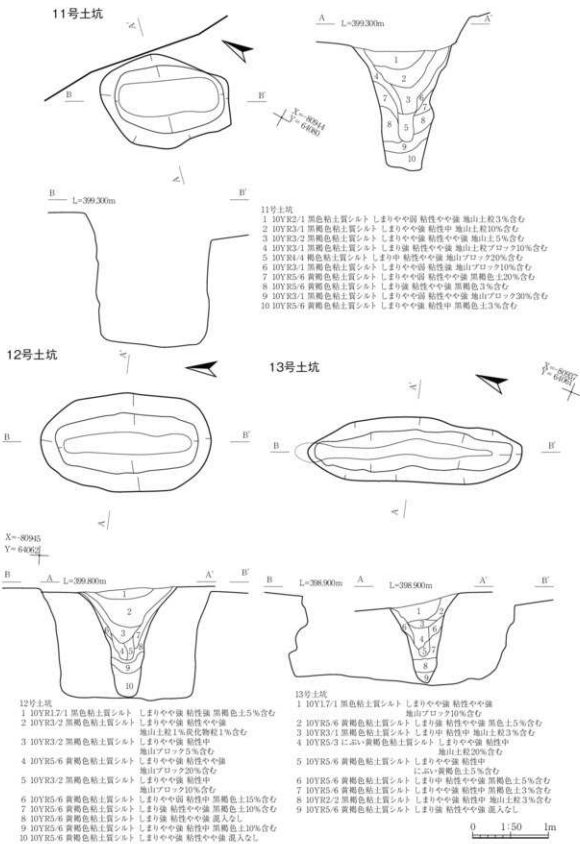
9号土坑



10号土坑

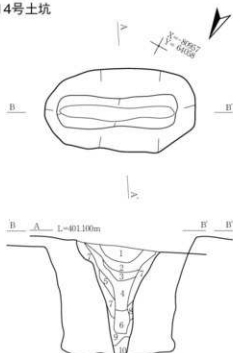


第5図 8~10号土坑



第6図 11~13号土坑

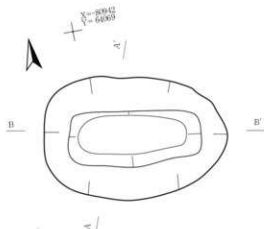
14号土坑



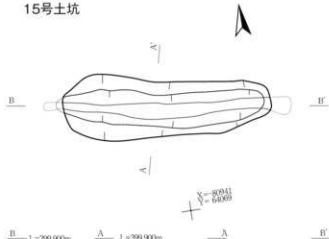
14号土坑

- 1 10YR17/1 黒色粘土質シルト しまり中 粘性や中強 灰黄褐色土5%含む
- 2 10YR4/2 灰黄褐色粘土質シルト しまりや中強 粘性や中強 黒色土プロック5%含む
- 3 10YR4/2 灰黄褐色粘土質シルト しまりや中強 粘性中
塵土プロック (5YR5-6明赤褐色) 5%炭化物粒5%含む
- 4 10YR4/1 暗灰色粘土質シルト しまりや中強 粘性中 地山プロック20%含む
- 5 10YR4/2 灰黄褐色粘土質シルト しまり中 粘性や中強 地山プロック20%含む
- 6 10YR5-6 黄褐色粘土質シルト しまりや中強 粘性や中強 灰黄褐色土15%含む
- 7 10YR5-6 黄褐色粘土質シルト しまりや中強 粘性中 灰黄褐色土3%含む
- 8 10YR5-4 に近い黄褐色粘土質シルト しまり中 粘性中 灰黄褐色土5%含む
- 9 10YR5-6 黄褐色粘土質シルト しまりや中強 粘性や中強 灰黄褐色土20%含む
- 10 10YR5-4 に近い黄褐色粘土質シルト しまり中 粘性や中強 灰黄褐色土3%含む

16号土坑

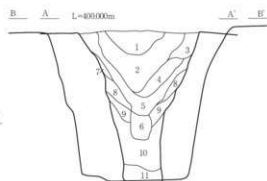


15号土坑



15号土坑

- 1 10YR17/1 黒色粘土質シルト しまり中 粘性や中強 地山プロック5%含む
- 2 10YR5-6 黄褐色粘土質シルト しまりや中強 粘性中 黒色土15%含む
- 3 10YR5/4 に近い黄褐色粘土質シルト しまりや中強 粘性中 黒色土10%含む
- 4 10YR5-6 黄褐色粘土質シルト しまり中 粘性や中強 混入なし
- 5 10YR5-4 に近い黄褐色粘土質シルト しまりや中強 粘性中 黒色土20%含む



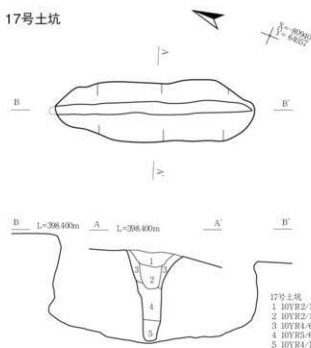
16号土坑

- 1 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト しまりや中強 粘性や中強 灰黄褐色土5%含む
- 2 10YR4/3 に近い黄褐色粘土質シルト しまり中 粘性や中強 地山プロック5%含む
- 3 10YR4/1 暗灰色粘土質シルト しまりや中強 粘性中 地山プロック5%含む
- 4 10YR4/4 暗褐色粘土質シルト しまりや中強 粘性や中強 暗灰色土10%含む
- 5 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト しまりや中強 粘性や中強 地山土粒5%含む
- 6 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト しまり中 粘性中 地山プロック20%含む
- 7 10YR5-6 黄褐色粘土質シルト しまり中 粘性や中強 混入なし
- 8 10YR5-6 黄褐色粘土質シルト しまりや中強 粘性中 黒褐色土20%含む
- 9 10YR5-6 黄褐色粘土質シルト しまりや中強 粘性や中強 混入なし
- 10 10YR5-8 黄褐色粘土質シルト しまりや中強 粘性強 灰黄褐色土5%含む
- 11 10YR3/2 黒褐色粘土質シルト しまりや中強 粘性中 地山プロック30%含む

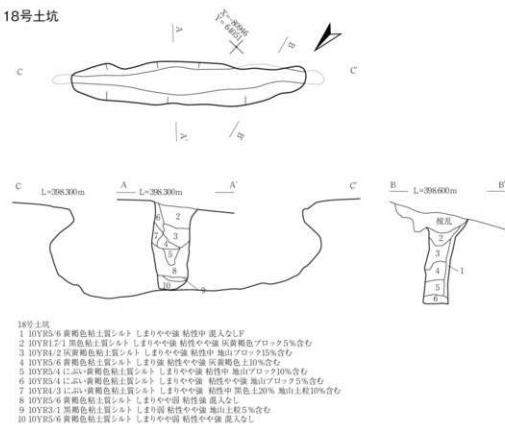
0 1:50 1m

第7図 14~16号土坑

17号土坑



18号土坑



0 1:50 1m

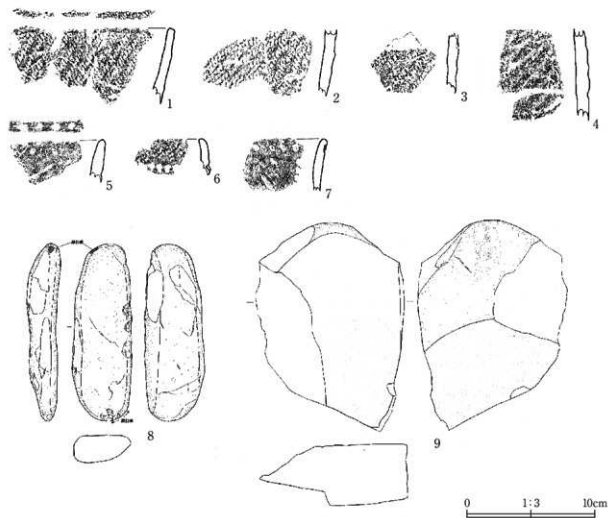
第8図 17・18号土坑

台形状を呈するものが3基(17%)である。深さは、遺構検出面からの計測で0.54~2.08mの範囲にあり、2mを越えるものが5号土坑と16号土坑である。

規模を見ると、①長さが2m未満の小型(7基)のもの②2m以上の大型(10基)のものに大別される。最大規模の遺構は、調査区北側で検出された18号土坑で長さ3.16mを測る。

分布状況(第10図)は、長軸(主軸)方向が2基一対で並列して等高線に平行に沿うものが2箇所(3・5号土坑、13・17号土坑)、直行するものが2箇所(2・11号土坑、10・12号土坑)で確認されている。配列は等高線に沿う規則性が見られる。

本遺跡の陥し穴状土坑の特徴として、開口部の幅が1mを越えるものや深さが1.50~2.00m前後のタイプが多いことから、シカやイノシシ等の中型獣を狩猟対象としたものと考えられる。



第9図 遺構外出土遺物

第1表 土器観察表

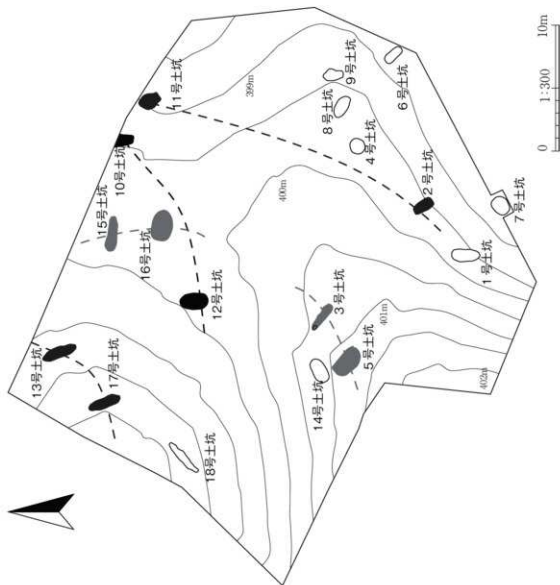
掲載番号	出土状況		時期	器種	法量 (cm)			残存部位	外面	内面	胎土	備考	国	版	写真
	地点	層位			口径	底径	器高								
1	調査区外周トレンチAX75付近	I層	前期前葉	深鉢	-	-	-	口縁部	口唇部施文有・LR横	ナゲ・オボエ	植物繊維	同一個体	9	6	
2	調査区外周トレンチAX75付近	I層	前期前葉	深鉢	-	-	-	胴部	LR横	-	植物繊維		9	6	
3	調査区外周トレンチAX75付近	I層	前期前葉	深鉢	-	-	-	胴部	LR横	-	植物繊維		9	6	
4	調査区南端	I層	前期	深鉢	-	-	-	胴部	無筋L	ヘラナゲ	植物繊維		9	6	
5	9号土坑付近	I層	前期	深鉢	-	-	-	口縁部	口唇部文様あり 無文	ナゲ	植物繊維		9	6	
6	2号土坑付近	IV層	後期?	深鉢	-	-	-	口縁部	LR横・口唇部刺突	ナゲ	-		9	6	
7	不明	表探	不明	深鉢	-	-	-	口縁部	口縁部竹管(ミガキ)	ミガキ	-		9	6	

第2表 石器観察表

掲載番号	出土地点・層位	種類	計測値				石質・産地	国	版	写真
			長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重量 (g)				
8	トレンチ3	敲・磨石	14.0	4.6	2.4	2306	陸奥頁岩 中生代前期北上山地	9	6	
9	トレンチ3	石皿	16.4	11.7	4.7	11077	頁岩 中生代前期北上山地	9	6	

第3表 土坑一覧

No	遺構名	位置	平面形	間口部 (m)	底部 (m)	深さ (m)	長軸 (主軸)	国	版	写真
1	1号土坑	I A12 j ~13 j	楕円形	2.28×0.94	2.08×0.50	1.40	N-3° -E	3	1	
2	2号土坑	I A11 k ~12 k	隅丸長方形	1.70×0.88	1.15×0.28	1.54	N-30° -W	3	2	
3	3号土坑	I A9 i ~10 i	溝状	2.46×0.72	2.14×0.26	0.56	N-57° -W	3	2	
4	4号土坑	I A10 i ~10 m	円形	1.26×1.20	0.60×0.55	0.88	-	3	2	
5	5号土坑	I A10 h	不整楕円形	2.54×1.46	1.80×0.54	2.08	N-51° -W	4	2	
6	6号土坑	I A11 n	楕円形	1.60×0.76	1.46×0.25	0.80	N-45° -W	4	3	
7	7号土坑	I A13 k	楕円形	1.50×1.28	1.04×0.48	1.30	N-41° -E	4	3	
8	8号土坑	I A10 m	楕円形	1.88×0.98	1.38×0.40	1.66	N-60° -W	5	3	
9	9号土坑	I A10 n	不整楕円形	1.62×0.95	1.03×0.45	1.45	N-6° -W	5	3	
10	10号土坑	I A6 m	不明	1.28×0.98	1.12×0.32	1.34	N-2° -W	5	4	
11	11号土坑	I A6 m	不整楕円形	1.66×1.24	1.30×0.45	1.64	N-32° -W	6	4	
12	12号土坑	I A7 i ~7 j	楕円形	2.25×1.32	1.68×0.28	1.42	N-4° -W	6	4	
13	13号土坑	I A4 h ~5 i	溝状	2.84×0.86	2.60×0.22	1.06	N-21° -W	6	4	
14	14号土坑	I A9 h ~10 h	楕円形	2.00×1.12	1.52×0.20	1.46	N-63° -E	7	5	
15	15号土坑	I A5 j ~5 k	溝状	2.76×0.90	3.32×0.32	1.02	N-82° -W	7	5	
16	16号土坑	I A6 k	楕円形	2.44×1.60	1.44×0.52	2.00	N-82° -W	7	5	
17	17号土坑	I A5 g ~5 h	溝状	2.64×0.82	2.70×0.18	1.22	N-22° -W	8	5	
18	18号土坑	I A7 f ~7 g	溝状	3.16×0.66	3.42×0.28	1.10	N-46° -E	8	6	



第10図 遺構分布図



調査区実掘 (西から)



基本層序断面 (北から)



基本層序断面 (南から)



1号土坑実掘 (南から)



1号土坑断面 (南から)

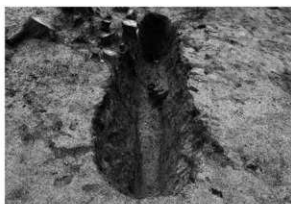
写真図版1 調査区近景、基本層序、1号土坑



2号土坑完掘 (南東から)



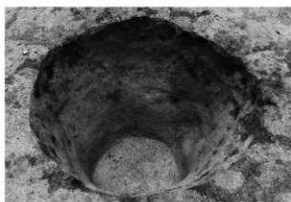
2号土坑断面 (南東から)



3号土坑完掘 (東から)



3号土坑断面 (東から)



4号土坑完掘 (東から)



4号土坑断面 (南東から)



5号土坑完掘 (東から)



5号土坑断面 (北から)

写真図版2 2～5号土坑



6号土坑完掘（東から）



6号土坑断面（南東から）



7号土坑完掘（北西から）



7号土坑断面（南東から）



8号土坑完掘（東から）



8号土坑断面（南から）



9号土坑完掘（南西から）



9号土坑断面（西から）

写真図版3 6～9号土坑



10号土坑完掘（南から）



10号土坑断面（南東から）



11号土坑完掘（東から）



11号土坑断面（東から）



12号土坑完掘（南から）



12号土坑断面（南から）



13号土坑完掘（北西から）



13号土坑断面（南東から）

写真図版4 10～13号土坑



14号土坑完掘(北から)



14号土坑断面(北から)



15号土坑完掘(東から)



15号土坑断面(北西から)



16号土坑完掘(東から)



16号土坑断面(東から)



17号土坑完掘(北から)



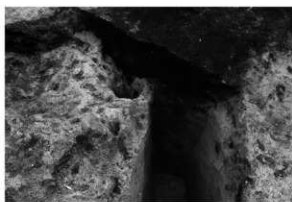
17号土坑断面(北西から)



18号土坑完掘（北から）



18号土坑断面（北から）



18号土坑断面（北から）



1



5



6



2



3



7



8



9

写真図版6 18号土坑、出土遺物